



明治維新の後、国力強化・貿易振興のために、商工業の総合的な改善発達と商工業者の世論機関が必要とされ、明治11年（1878）、東京商法会議所が設立された。その初代会頭が渋沢栄一。日本の近代経済の基礎を築いた人物ゆかりの地をご紹介します。

# 渋沢栄一 ゆかりの地を訪ねる

- 1840年 天保11年 2月13日 血洗島村（現・埼玉県深谷市内）に生まれる。
- 1847年 弘化4年 従兄の尾高惇忠から漢籍などを習う。
- 1853年 嘉永6年 家業の畑作、養蚕、藍染に励む。
- 1863年 文久3年 横浜外国人居留地の焼きうち計画を立てたが、計画を中止、京都へ向かう。
- 1864年 元治元年 一橋家の平岡円四郎との縁から、一橋慶喜に仕える。
- 1866年 慶応2年 徳川慶喜が征夷大將軍となり、栄一は幕臣となる。
- 1867年 慶応3年 慶喜の異母弟、徳川昭武に従いフランスへ（パリ万博使節）。
- 1868年 明治元年 維新後にフランスから帰国、静岡で謹慎中の慶喜に面会。
- 1869年 明治2年 静岡で「商法会所」を設立する。
- 1870年 明治3年 官営の富岡製糸場の設置主任に（明治5年の初代工場長は尾高惇忠）。
- 1873年 明治6年 大蔵省を辞める。第一国立銀行を開業（総監役に就任）。
- 1878年 明治11年 抄紙会社（後の王子製紙）を創立。
- 1878年 明治11年 東京商法会議所（後の東京商工会議所）を設立、初代会頭に。
- 1880年 明治13年 博愛社（後の日本赤十字社）創立、社員（後に相談役）に。
- 1887年 明治20年 帝国ホテル創立、発起人総代（後に取締役会長）に。
- 1888年 明治21年 札幌麦酒会社創立、発起人総代（後に取締役会長）に。
- 1901年 明治34年 東京・飛鳥山邸を本宅とする。
- 1907年 明治40年 帝国劇場会社創立、創立委員長（後に取締役会長）に。
- 1916年 大正5年 実業界を引退。
- 1920年 大正9年 国際連盟協会創立、会長に。子爵を授けられる。
- 1929年 昭和4年 中央盲人福祉協会創立、会長に。
- 1931年 昭和6年 11月11日、91歳で永眠。

参考資料：（公財）渋沢栄一記念財団 HP「渋沢栄一年譜」

## 渋沢栄一を知ろう！

- Q 3

どこがすごかったの？

農家の出身だったが隠すことなく上部に意見を言い見いだされた。理財の才能を活かし、異国の情報も遮断せずに学び、後に活用した。個々の力を合わせ運営する合本組織を軌道に乗せ、民間の経済力を強めた。
- Q 2

どのぐらいの会社を作ったの？

日本初の民間銀行「第一国立銀行」を始めとして、創立または、設立・育成に関わった企業は約500といわれる。王子製紙、東京石川島造船所、東洋紡績、帝国ホテルなど、日本を代表する企業に育った会社も多い。
- Q 1

渋沢栄一ってどんな人？

徳川慶喜に仕え、その後、幕臣となりフランスへ行く。維新後は明治政府での勤めを経て実業界に転身した。資本を出し合い会社を作るという合本組織（株式会社）という考え方を広め、日本の近代経済の基礎を築いた。

## ゆかりの地・建物

### 銀行発祥の地

渋沢栄一が中心となり創設した日本初の近代的な銀行「第一国立銀行」。跡地に立つみずほ銀行兜町支店に、「銀行発祥の地」の銘板と展示パネルが掲示される。

DATA ②中央区日本橋兜町4-3 ③東京メトロ茅場町駅から徒歩3分 ④見学自由

### 渋沢栄一宅跡

明治9年（1876）から住んだ旧深川福住町邸宅跡として残り、案内板が立つ。当時は深川区で、深川を愛した渋沢栄一は同区会議員を15年にわたり務めた。

DATA ②江東区永代2-37 ③東京メトロ門前仲町駅から徒歩5分 ④見学自由

### 渋沢栄一生地

栄一が誕生した血洗島村。生地には妹夫妻が建てた旧渋沢邸「中の家（なかんち）」が残る。栄一も生前、頻繁に立ち寄っている。

DATA ②埼玉県深谷市血洗島247-1 ③JR深谷駅から徒歩で20分 ④048-587-1100（渋沢栄一記念館） ⑤9～17時（入場は16時30分まで） ⑥年末年始 ⑦入館無料



- 鹿児島に戻った西郷、実業界へ転じた渋沢。ともに大好き。近代日本にかけえのない2人だった。
- 新政府で西郷隆盛は陸軍大將を務め、渋沢栄一は大蔵省へ。新政府は当時、財政難に苦しんだ。
- 戊辰戦争の時には渋沢栄一はフランス滞在中。新政府に呼び戻され、しばらく後に静岡藩で働き始めた。
- 西郷隆盛との最初の出会いは、渋沢栄一が24歳の時。一橋慶喜（後の徳川慶喜）の家臣として面談した。

旧邸跡地に設けられた博物館  
栄一の功績を展示・収蔵する

## 渋沢史料館 ●しぶさわしりょうかん

「渋沢史料館」は渋沢栄一の生涯と実績を伝える博物館。旧渋沢邸跡地を利用、飛鳥山公園の緑に包まれて立つ。本館には多くの資料を収蔵・公開する展示室や閲覧コーナーなどがある。さらに「晩香廬」や「青淵文庫」（両施設とも国指定重要文化財）を保存、公開、活用している。

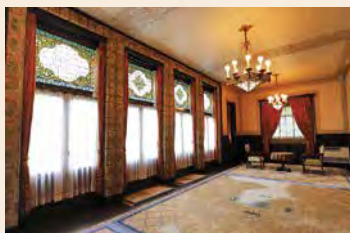
② 北区西ヶ原2-16-1 ③ JR王子駅南口改札から徒歩5分  
④ 10～17時（晩香廬と青淵文庫は10時～15時45分） ⑤ 月曜（祝日・振替休日の場合は開館）祝日の代休・年末年始・臨時休館日あり ⑥ 入館料300円

☎ 03-3910-0005  
🌐 <https://www.shibusawa.or.jp>



### 晩香廬 ●ばんこうろ

晩香廬は渋沢栄一の喜寿（77歳）を祝い大正6年（1917）に清水組から贈られた洋風茶室。丈夫な栗材を使用、家具や調度品、天井のレリーフなど細部に凝った当時の建築美が凝縮される。



### 青淵文庫 ●せいえんぶんこ

80歳と子爵に昇格したお祝いに大正14年（1925）に建てられた書庫で、接客の場として使われた。青淵は渋沢栄一の雅号である。家紋の柏の葉をデザインしたステンドグラスが美しい。



## 上野精養軒 ●うえのせいようけん

渋沢栄一がたびたび会食に訪れた上野精養軒。明治5年（1872）に築地のホテルとして創業。明治9年（1876）に不忍池のほとりに上野精養軒が開業した。フランス料理の草分けの味を堪能したい。

② 台東区上野公園4-58 ③ JR上野駅から徒歩5分  
☎ 03-3821-2181 🌐 <http://www.seiyoken.co.jp>

## 帝国ホテル 東京 ●ていこくほてる とうきょう

渋沢栄一が発起人となり、明治23年（1890）に開業。後に取締役会長を務めた。今もフランス料理「ラ・プラスリー」では、創業時から大切に受け継がれ、さらに磨かれてきた伝統の味が楽しめる。

② 千代田区内幸町1-1-1 ③ 東京メトロ日比谷駅から徒歩3分  
☎ 03-3504-1111 🌐 <https://www.imperialhotel.co.jp>

ローストビーフ  
温野菜添え  
4300円  
（1枚カット）  
吟味された上質の牛肉をブロックで火入れ、目の前でカットして提供される。



昔ながらの  
ビーフシチュー  
2380円  
伝統のドミグラスソース味。「カフェラン ランドレ」で味わえる。

